

東京日々新聞

九百八十二号



武州秩父郡費川村の
 或る家の娘が二日嫁入り
 なるに離縁して實家へ戻
 り居けると証しをせしむ
 娘は死なばなら嫁に往ても
 置のさかると評判にされけり
 村内の無き別ある若
 者連中が四五人づき
 相談し死があらう毎い
 引つぎ出して試して
 見ると或る夜の娘と

萬壽
 芳
 幾

連出
 有無
 四五人
 不輪好
 好まぬ娘
 親が大宮
 區へ訴へ
 出た

甲 倉足屋
 渡辺彫深

